

カラーリングで交流深める 婦人会カラーリング大会

8月31日、竜北体育センターにおいて、氷川町地域婦人会カラーリング大会が行われました。

会員が6人に満たない支部は、家族の参加ができるなど、氷川町婦人会独自のルールを設け、各支部から11チームが参加し、交流を深めました。順番や作戦を練るチームなど多様で、ジェットローラーを握る手にも力が入り、楽しくゲームが展開されました。

【大会結果】

- 優勝 今支部
- 準優勝 立神支部
- 3位 東上宮支部



▲展開を読んで勝負の一投

交通指導員新たに誕生 氷川町交通指導員委嘱状交付式

9月1日、役場庁議室において、氷川町交通指導員の委嘱状交付式が行われました。

今回委嘱をされたのは、立岩政勝さん(町)、鶴田稔之さん(下宮)の2人で、任期は2年間となります。

お二人は、「交通事故が1件でも減少し、安全で安心して暮らせる氷川町になるよう、微力ながら頑張りますので、よろしくお願いたします」と抱負を述べました。

本町では現在、15人の交通指導員がおられ、イベント時の交通指導や町内小学校での交通安全教室など、交通安全の啓発・指導に活躍されています。



▲左から立岩政勝さん、鶴田稔之さん

交通安全活動の功労に表彰 婦人会に防犯活動功労団体表彰

9月3日、ホテル熊本テルサにおいて、くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議が行われ、氷川町地域婦人会が、防犯活動功労団体として表彰されました。

氷川町地域婦人会は、子どもや高齢者の見守り活動や声掛けあいさつ運動など、地域に密着した防犯活動を積極的に推進されています。

黒田京子会長(東上宮)は「今後はこの受賞に恥じぬよう、会員が一体となって、氷川町の安全で安心なまちづくりに貢献できるよう活動していきたい」と決意を述べました。

本町は鹿島防犯パトロール隊に続く、2年連続の受賞となりました。



▲功労が認められた婦人会(中央が黒田会長)

健康長寿を祝って 敬老会

9月15日、氷川町公民館および竜北体育センターにおいて、敬老会が行われ、2会場で会員約600人の参加がありました。

式典では、小学生による敬老作文発表などが行われた後、敬老会員を代表して、老人クラブ連合会の小野一成会長(西上宮)が「現代の社会で、何事も無く暮らしているのも、地域の方の温かい心とご指導があればこそだと思っています。今後も自己管理を大切に、日々を暮らしていきます」と謝辞を述べました。

また、式典終了後には、保育園など各種団体のアトラクションが行われ、式典に華を添えました。



▲伝統の花笠音頭を披露したダーナ保育園園児

夜空に咲いた大輪が夏の夜を彩る

地蔵祭り・造り物大会

8月23・24日、地蔵祭り・造り物大会が開催されました。この2日間、宮原中心市街地では、町内の団体などが趣向を凝らした造り物8基が並び、道行く人の注目を集めました。

また、24日の花火大会では、氷川公園でビアガーデンが開催され、さまざまな出店が並び、多くの人でにぎわいを見せました。ステージ上では、カラオケ大会や氷川中生徒によるよさこいソーラン踊り、おやしライブなどが行われ、夜空を彩る約500発の花火とともに、夏の夜のひとときを楽しませてくれました。



造り物大会作品



商工会長賞 河原町内会
「国指定史跡 大野窟古墳」



議長賞 ひかわアワーズ
「冷たいぞ国会怒れるゴジラ」



町長賞 造り物好きもん会
「氷川町のトロ」



リュウケンホーム賞 氷川町商工会
「みんなで築く氷川城」



観光物産協会賞 宮原を語る会
「アナと雪の女王」



特別賞 桜ヶ丘別荘
「別荘こびとづかん」



特別賞 デイサービス木香
「ジャンプふなっしー」



町区消防(特別参加)
「野々村議員」